

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年01月04日

計画の名称	清瀬市公共下水道整備計画（第3期）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	清瀬市												
計画の目標	下水道に起因する浸水被害から市民の生命及び財産を守る対策を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	671	A	671	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下水道に起因する浸水被害の面積を軽減する。 下水道による浸水対策達成率 浸水被害の軽減面積（46ha）/浸水被害を軽減すべき面積（115ha）	28	30	32

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	清瀬市	直接	清瀬市	管渠(雨水)	新設	柳瀬川右岸第8-1排水区浸水対策事業	幹線整備、実施設計、浸水シミュレーション	清瀬市						671	-	
		H28-29 他計画にて同事業を実施。全体事業費 509百万円、整備実績 27ha																	
											小計						671		
											合計						671		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

学識経験者及び第三者を含む清瀬市都市計画審議会にて実施。

事後評価の実施時期

令和3年12月

公表の方法

市のホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

浸水対策事業の実施により、浸水被害が軽減される面積が26.9haから51haとなった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

浸水被害から市民の生命および財産を守るため、今後も計画的に浸水対策事業を行う。

